

事務事業実績測定調査

事務事業名称														市有建築物整備・保全事業(施設計画課)													
測定年度				2021(R3)年度				部		都市整備部				課		施設計画課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち																							
		施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち																							
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		内部管理				特性				内部事務				区分				一般内部管理事務									
事業期間						年度		～						年度まで													
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		庁舎等の市有建築物(学校以外)を管理する各施設所管課																							
		サブターゲット		庁舎等の市有建築物(学校以外)の利用者																							
		ターゲットが抱える課題		各施設所管部署が管理する市有建築物(学校以外)について、その施設の安全性及び機能性を維持し施設の延命化を図るために、計画的な改修が必要となる。																							
		ターゲットが抱える課題		各施設所管部署が管理する市有建築物(学校以外)について、その施設の利用目的や状態の変化などに即した適切な整備・改修が必要となる。																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市有建築物保全計画に基づき適切に施設の保全を行うことにより施設の安全性と機能性を維持し延命化を図ることができている。各施設の利用者が安全かつ快適に利用することができている。																									
事業概要		市有建築物の安全性及び機能性を維持し延命化を図るとともに、維持補修等にかかる経費の財政負担の平準化を図るため、平成23年4月に策定した「市有建築物保全計画」に沿い、計画的に事業を推進していく。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
						保全が必要となる施設について改修工事等を行う。				市有建築物保全計画に基づき、保全の検討等を行う。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		指標説明						計画に基づき改修工事等を行った施設数				当該年度の計画対象施設数															
		指標種類		単位				単位				施設															
		指標数値		R2				R3				R4				R5											
		目標(見込み)						66				54				41				61							
		実績						53				46															
		達成度						85%				100%															
分析		市有建築物保全計画の第Ⅲ期実施計画に基づく保全工事等を46施設で実施した。																									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.70
任期付職員	0.20
会計年度任用職員	0.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	173,202	166,995	14,227		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	3,014	2,238		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	173,202	170,009	16,465		
	物件費計	0	391	0	0	—
	歳出計	173,202	170,400	16,465		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	173,202	391	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>市有建築物保全計画第Ⅲ期実施計画に基づき保全工事及び計画以外の工事、その他緊急工事を行った。また、各施設所管課(学校園を除く)からの改修依頼に基づき、各施設の利用者が安全かつ快適に利用できるように改修等の工事を実施した。 なお、財政事情が達成度に影響するため、引き続き平準化に努めるとともに、計画的な保全を進める。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市有建築物保全計画第Ⅲ期実施計画(令和3年度～令和7年度)に基づき、施設所管部署とも連携を図りながら引き続き効率的・効果的な改修・更新工事を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校整備・保全事業(施設計画課)													
測定年度	2021(R3)年度				部	都市整備部				課	施設計画課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	地域教育行政の組織及び運営に関する法律第23条7号				
関係補助金名称	学校園施設環境改善交付金、公立学校施設整備費負担金			サンセット	-
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の公立小学校及び中学校に通学する児童・生徒			
	サブターゲット	枚方市の公立小学校及び中学校を利用する市民全般			
	ターゲットが抱える課題	学校施設を利用する児童・生徒を主とした利用者が、安全で快適に利用できるよう必要な施設整備や保全を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	老朽化した学校施設が一斉に更新時期を迎えることになるため、施設の長寿命化や学校規模等の適正化を図る必要がある。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	「枚方市学校整備計画」に基づき、適切な学校施設の整備が行われている状態。学校施設を利用する児童・生徒を主とした利用者が、安全で快適に利用できている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。 国庫補助の対象となる学校施設整備については、学校施設環境改善交付金などの申請を行う。また、円滑な国庫補助金事務を遂行するため、学校施設台帳の整備や施設の解体や増築に伴う財産処分手続き、国・府からの各種調査への対応及び情報収集を行う。 建築基準法に基づき定期点検を実施する。 体育館空調設備整備事業及び教室等空調設備更新事業に係る事業者の公募、選定、契約手続き等を行う。 ※「3. 予算額」には施設整備室に係る予算額を記載している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	保全が必要となる学校について改修工事等を行う。				インプット(活動)	学校整備計画に基づき保全の検討等を行う					
	指標説明					アウトカム(活動効果)	計画に基づき改修工事等を行った学校数				インプット(活動)	当該年度の計画対象学校数					
指標設定	指標種類	単位				アウトカム(活動効果)	単位				校	インプット(活動)	単位				校
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
	目標(見込み)					36	40	41	57	36	40	41	57				
	実績					35	40			36	40						
	達成度					100%				100%							
分析					令和3年度の計画対象学校数は、計画通り改修工事が実施できたため目標達成した。				施設の老朽度などを踏まえた保全改修の必要な学校を計画対象学校として選定することができた。								
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	国庫補助の対象となる事業が採択され、国庫負担金・国庫交付金が交付される。				インプット(活動)	学校施設の増改築や大規模改修事業など、国庫補助の対象となる学校施設整備について、申請手続きを行う。					
	指標説明					アウトカム(活動効果)	学校整備計画に基づく国庫負担(補助)金事業の採択件数				インプット(活動)	学校整備計画に基づく国庫負担(補助)金事業の申請対象数					
指標設定②	指標種類	単位				アウトカム(活動効果)	単位				件	インプット(活動)	単位				件
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
	目標(見込み)					41	30	57	60	26	42	57	60				
	実績					45	35			45	35						
	達成度					100%				100%							
分析					令和3年度に申請を行った国庫補助金は、全件採択された。				国庫補助要件等を踏まえ対象事業は、全て国庫補助金申請を行った。								

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	4.30
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	191,967	37,265		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	746		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	191,967	38,011		
	物件費計	—	2,268,531	85	181	47%
	歳出計	—	2,460,498	38,096		
歳入	国庫支出金	—	328,732	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	1,202,800	1,217,000	0	
	その他	—	5,975	0	0	
	歳入計	—	1,537,507	1,217,000	0	
	一般財源	—	731,024	▲ 1,216,915	181	

5. 総括的分析

総括的分析 「枚方市学校整備計画」に基づき、財政負担の平準化を図りつつ、計画的に改修・更新工事を進めている。令和3年度は、当該計画に沿って施設の改修・更新工事を実施し、施設の適正な維持保全を図るとともに、国庫補助の対象となる施設整備について申請手続きを行った。また、円滑な国庫助成金事務を遂行するため、施設台帳の整備や府・国からの各種調査への対応を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全の推進に向けて取り組みを進める。また、国庫補助の対象となる施設整備について申請手続きを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														総合文化施設整備事業(施設計画課)													
測定年度				2021(R3)年度				部		都市整備部				課		施設計画課											
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																							
		施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち																							
		実行計画名		17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信																							
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				非選択的的事业				区分		非選択的の事務事業											
事業期間		2015(H27)年度				年度		~						年度まで													
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称												サンセット		-													
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		枚方市内で文化芸術を鑑賞・体験する機会を求めている市民																							
		サブターゲット		市内外から参集する多くの人々が枚方市駅周辺で飲食や買い物をする事で、経済効果が期待できる。																							
		ターゲットが抱える課題		文化芸術を享受するため、大阪市内や京都市内へ足を運ばなければならない。よって、文化芸術に関心がある人(やその子ども)しか、文化芸術に触れる機会が得られない。																							
		ターゲットが抱える課題		年代や関心の違いによって、求める文化芸術のジャンルがさまざまである。																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		様々なジャンルの優れた文化芸術に触れる機会を作ることで、幅広い年代の方が、枚方市内でそれぞれのニーズに合った文化芸術を享受することができる。また、枚方市内でそうした機会を作ることで、文化芸術にあまり関心がなかった人(やその子供)も、文化芸術に触れる機会が得られている。																									
事業概要		総合文化施設に係る設計業務については、積極的に民間ノウハウを活用する観点から、プロポーザル方式により設計事業者を選定し進めている。平成29年度に設計をまとめ、平成30年度から工事に着手。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
						総合文化施設が整備される。				総合文化施設に係る設計業務を実施する。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		指標説明						総合文化施設の整備に関する進捗度				総合文化施設の設計進捗度															
		指標種類		単位				単位				%															
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5															
		目標(見込み)						100 100 - -				- - - -															
		実績						98 100																			
		達成度						100%																			
分析						総合文化施設の整備が完了した。																					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	52,111	51,838	6,286		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	52,111	51,838	6,286		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	52,111	51,838	6,286		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	2	0	0	
	一般財源	52,111	▲ 2	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 枚方市総合文化芸術センターの整備については、平成30年10月から建設工事に着手し、令和2年度内の完成を目指し進めてきた。しかしながら、掘削工事において地中埋設物が発見されたこと等により、令和3年度に駐車場や施設前広場の外構工事等が行うこととなった。その結果、令和3年5月に竣工となったものの、建物部分を先行的に完成させたことによって令和3年9月に開館に支障の無い対応を行った。

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	令和3年5月に竣工、令和3年9月に開館したことで終了となる。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市有建築物アスベスト対策事業										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	都市整備部			課	施設計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2005 (H17) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	対象施設を管理する施設所管部署			
	サブターゲット	対象施設の利用者			
	ターゲットが抱える課題	対象施設のアスベストの飛散防止のための適切な監視			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切な監視により、アスベストの飛散がなく安心して施設を利用できている。				
事業概要	アスベスト含有吹付け材が使用されている施設(対象施設)において、「市有施設における吹付けアスベスト等の管理マニュアル」に基づきアスベスト含有吹付け材の劣化状況の目視点検及び室内空気濃度調査を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						適切な監視により、アスベストの飛散がなく安心して施設を利用できる。				対象施設について、アスベスト含有吹付け材の劣化状況の目視点検及び室内空気濃度調査を実施する。			
指標説明						対応済み施設数				対象施設数			
指標種類		単位				単位 施設				単位 施設			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度					100%				100%			
分析						アスベスト含有吹付け材が使用されている4施設(対象施設)において、劣化状況の目視点検及び室内の空気中アスベスト濃度測定を実施した。							

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	882	877	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	882	877	3,143		
	物件費計	114	99	86	680	13%
	歳出計	996	976	3,229		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	996	99	86	680	

5. 総括的分析

総括的分析	アスベスト含有吹付材が使用されている施設(対象施設)において、「市有施設における吹付アスベスト等の管理マニュアル」に基づくアスベスト含有吹付材の劣化状況の目視点検及び室内アスベスト濃度測定を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	劣化状況の目視点検及び空気濃度調査を実施し、必要に応じ除去工事の検討を行い適切な飛散防止対策を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	施設計画課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	都市整備部			課	施設計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務				
事業期間			年度	～		年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称						サンセット					
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	室の所管事務を行う職員									
	サブターゲット	室の所管事務に関わる他部局									
	ターゲットが抱える課題	室の運営業務を円滑に実施する必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	室の運営業務が円滑に実施できている。										
事業概要	室の運営業務 ※「3. 予算額」には施設整備室に係る予算額を記載している。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)													
	実績														
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	14,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	14,143		
	物件費計	-	-	3,414	4,156	82%
	歳出計	-	-	17,557		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	3,414	4,156	

5. 総括的分析

総括的分析	庁内外への照会・回答処理事務、他課依頼事業の連絡調整事務など、室の運営事務を実施した。また、突発的に発生した業務については都度ミーティングを行い、担当者ごとの業務量の調整を図りながら運営事務の効率的・効果的な執行に努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	他部局と連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。